

# フィンランド語文法：中級⑪

## 受動過去形

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



# 受動形について

- 受動現在形は「初級⑩」で扱った。
- ここでは過去形、次に条件法現在形について学習する。
- 過去の否定形と完了形については、次の次の資料で扱う。
- 受動現在分詞について「上級②」で扱う。

# 受動現在形の復習（1）

●タイプ<sub>2</sub>~6の動詞では、A不定詞の最後を伸ばして-nをつける。

② syödä 「食べる」

> syödä**än**

③ mennä 「行く」

> mennä**än**

④ tavata 「会う」

> tavata**an**

⑤ valita 「選ぶ」

> valita**an**

⑥ suureta 「大きくなる」

> suureta**an**



# 受動現在形の復習 (2)

- タイプ<sub>1</sub>の動詞では、語幹に-taan/-tään をつける。  
puhua 「話す」 > puhu- > **puhutaan**
- kpt交替のある語では、kpt交替が起こる。  
lukea 「読む」 > luke- > lue- > **luetaan**
- taan/-tään の前で a と ä は e に変わる。  
lentää 「飛ぶ」 > lentä- > lennä- > lenne- > **lennetään**



# 受動現在形の復習 (3)

- 否定形では否定動詞の **ei** と、肯定形の最後の **-an/-än** をとった形を結びつける。

syödään



**ei syödä**

mennään



**ei mennä**

tavataan



**ei tavata**

valitaan



**ei valita**

suuretaan



**ei suureta**

lennetään



**ei lennetä**



# 受動現在形の復習（4）

●受動形は「～しよう」という意味で使う。

**Tavataan** huomenna! 明日会いましょう。

**Opiskellaan** suomea! フィンランド語を勉強しましょう。

**Lennetään** Suomeen! フィンランドへ飛行機で行こう。

**Ei lähdetä** vielä! まだ出かけないでおこう。

**Ei puhuta** japania! 日本語は話さないでおこう。



# 受動現在形の復習（5）

- 受動形は主語を表現しないときに使う。そのため主語は「人々」「彼ら」「私たち」などでありうる。もちろん「～される」と受動の訳し方ができれば、そうすればよい。

Suomessa **juodaan** paljon kahvia.

フィンランドではたくさんコーヒーを飲む。

Suomessa **puhutaan** myös ruotsia.

フィンランドではスウェーデン語も話す。



# 受動現在形の復習（6）

- 口語では主語が Me 「私たち」 のときに受動形を使う。

Me opiskelemme suomea.

= Me **opiskellaan** suomea.

私たちはフィンランド語を勉強する。

Me emme opiskele ruotsia.

= Me **ei opiskella** ruotsia.

私たちはスウェーデン語を勉強しない。🔊



# 受動形に関する注意

- 文法の上では受動形には主語はともなわない。

Suomessa juodaan paljon **kahvia**.

フィンランドではたくさんコーヒーが飲まれる。

この文の kahvia はあくまでも目的語。

- 自動詞も受動形になる。

Täällä **eletään** kuin maalla pikkukylässä.

ここでは田舎の小さな村の中のように暮らしている。

# 受動形の全体像

A不定詞	受動現在	受動過去	条件法受動	分詞	
tietää	tiedetään	<b>tiedettiin</b>	tiedettäisiin	tiedetty	過去
				<b>tiedettävä</b>	現在

juoda	juodaan	<b>juotiin</b>	juotaisiin	juotu	過去
				<b>juotava</b>	現在

olla	ollaan	<b>oltiin</b>	oltaisiin	oltu	過去
				<b>oltava</b>	現在

- 受動現在の作り方を復習すること。
- 受動現在の最後が-tAAnなら受動過去は-ttiin。それ以外の場合には、受動過去は-tiin。
- 条件法受動は受動過去の-iinを-Aisiinに。
- 受動過去分詞は受動過去の-iinを-Uに。
- 受動現在分詞は受動過去の-iinを-AvAに。

(A=a/ä, U=u/y, O=o/ö)



# 受動過去形 (1)

- 受動過去形は受動現在形から作れる。

puhua > puhutaan > puhuttiin

tietää > tiedetään > tiedettiin

tavata > tavataan > tavattiin

häiritä > häiritään > häirittiin

受動現在形  
-taan/-tään



受動過去形  
-ttiin



# 受動過去形（2）

- 受動過去形は受動現在形から作れる。

viedä > viedään > vietiin

olla > ollaan > oltiin

panna > pannaan > pantiin

purra > purraan > purtiin

pestä > pestään > pestiin

受動現在形  
-taan/-tään 以外  
⇒  
受動過去形  
-tiin

受動現在形  
-staan/-stään  
⇒  
受動過去形   
-stiin

# 受動過去形の練習

Kun olin lapsi, maalla (käydä) saunassa kaksi kertaa viikossa.

私が子どもの頃、田舎では週に2回サウナへ入った。

(sopia), että asiasta ei puhuta kenellekään.

その件については誰にも話さないと約束した。

Koko Raamattu (kääntää) suomeksi vuonna 1642.

全聖書は1642年にフィンランド語に訳された。

Huoneen seinät (maalata) valkoisiksi.

部屋の壁を白く塗った。



# 受動過去形の練習（解答）

Kun olin lapsi, maalla (**käytiin**) saunassa kaksi kertaa viikossa.

私が子どもの頃、田舎では週に2回サウナへ入った。

(**Sovittiin**), että asiasta ei puhuta kenellekään.

その件については誰にも話さないと約束した。

Koko Raamattu (**käännettiin**) suomeksi vuonna 1642.

前聖書は1642年にフィンランド語に訳された。

Huoneen seinät (**maalattiin**) valkoisiksi.

部屋の壁を白く塗った。

